## 令和2年度 第1回 登録建築大工基幹技能者認定試験問題 (60分)

受験番号	氏名	
------	----	--

- 1.試験時間 60 分
- 2.問題数25題(四者択一方式)

## 注意事項

試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開けないでください。

受験番号と氏名は、問題用紙および、解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず 記入してください。

本冊子は表紙を含め 11 頁です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などあった 場合は、黙って手を上げて申し出てください。

本冊子の持ち帰りは禁止です。解答用紙と共に提出してください。

解答の方法は次のとおりです。

- イ. 正解と思うものを(1~4)の中から1つだけ選び、解答用紙の解答欄に その番号または記号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してく
- ロ.解答を訂正する場合は、訂正する解答を、消しゴムできれいに消した後、 新しい解答を記入してください。

電子式卓上計算機、携帯電話、情報端末機、その他これと同様の機能を有す るものは使用してはいけません。

試験開始後30分までの遅刻は受験することができます。ただし、解答でき る時間はこの試験終了予定時刻までです。

試験中質問があるときは、黙って手を上げてください。ただし、試験問題の 内容、漢字の読み方に関する質問にはお答えできません。

試験終了予定時刻前に解答が出来上がった場合は黙って手を上げて係員の 指示に従ってください。ただし、試験開始から30分以内の場合は退出でき ないので、静かに着席していてください。

係員の試験開始の合図で始めてください。

(一社) J B N・全国工務店協会

全国建設労働組合総連合

(一社) 全国住宅産業地域活性化協議会 (一社) 全国中小建築工事業団体連合会

(一社) 日本ツーバイフォー建築協会 (一社)日本木造住宅産業協会

(一社)日本ログハウス協会

(一社)プレハブ建築協会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

- 問題1.登録基幹技能者に求められる役割について、最も<mark>不適当</mark>なものはどれか。
- 1.現場の状況に応じた施工方法の提案、調整など。
- 2.現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順の構成。
- 3.現場の技能者に対する施工に係る指示、指導。
- 4. 自工程のみを優先した、他の職長への連絡・調整。

## 問題2.登録基幹技能者に求められる能力として、最も不適当なものはどれか。

- 1. 常に他業種とのコミュニケーションに心掛け、信頼関係の中で折衝、調整を行い、工事を円滑に推進する能力が求められている。
- 2.元請けの示す施工計画等から、現場に適した施工方法、作業手順、VE等の 提案を行う能力が求められている。
- 3 . 未熟練な作業者をレベルアップさせるOJT教育を行う能力を有するこが 求められている。
- 4.技術者から指示されても理由を問わず、自己都合だけで物事を遂行する能力が求められている。

## 問題3.経営事項審査に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか?

- 1.経営事項審査は、国・地方公共団体などが発注する公共事業を直接請け 負おうとする場合には、必ず受けておく必要がある。
- 2.経営事項審査は、公共事業の各発注機関が行う資格審査で格付けが行われる「客観的事項」と「発注者別評価」の内、「客観的事項」にあたる審査をいう。
- 3.経営事項審査は、建設業法により建設業許可に係る許可行政庁が実施する。
- 4.経営事項審査の有効期間は、結果通知書(経営事項審査)を受領した後、 その経営事項審査の審査基準日から1年6ヶ月の間である。

- 問題4. 登録基幹技能者に求められる、コンプライアンスや倫理に関する記述で、最も**適当**なものはどれか。
- 1.元請会社の技術者から指示された事は、技能者の過去の経験や考えと違っていても、指示されたとおり施工すべきである。
- 2.企業コンプライアンスはあくまでも「法令遵守」であり、社内独自の規則 やマニュアル等は企業コンプライアンスに該当しない。
- 3.コンプライアンスとは法令に従って事業または仕事を行う事であり、倫理 とは人間として守り行うことである。
- 4.契約工期を守るためには、全ての材料が新品でなくても、間に合わなければ古い材料を使い施工しても機能を満足していれば、倫理違反にはならい。
- 問題 5 . 建築大工基幹技能者に求められる能力に関して、最も<mark>不適当</mark>なものは どれか。
- 1. 他職の技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力
- 2. 未熟練の建築大工技能者をレベルアップさせるOJTを行う能力
- 3. 監督の示す施工計画等へ現場に適した技能面からの施工方法・作業手順・ 工夫の提案能力
- 4.現場をまとめ、効率的な建築大工作業を実施するための管理能力
- 問題 6. 建築大工基幹技能者に現場において日常的に求められる役割について、最も**不適当**なものはどれか。
- 1.品質管理
- 2.安全管理
- 3. 営業管理
- 4. 工程管理
- 問題7.0JT教育に関し、不適当なものはどれか。
- 1.0JTは上司の仕事そのものである。
- 2.0JTでは上司のペースに合わせる。
- 3.0」Tで、仕事のペースは落とさない。
- 4.0JTにおいて、外部との接触の機会を提供する。

- 問題8.OJTの指導方法としての次の記述のうち最も<mark>不適当</mark>なものはどれか。
- 1.教える やってみせる やらせてみる 修正する といったことを繰り返すことが大切。
- 2.登録基幹技能者が模範を示し、やってみせて見習わせることが効果的。
- 3. 指導で大切なことは、指示したこと以外はやらせないことである
- 4. 指導・育成の基本は、部下が進んで自己啓発に励むように動機づけする。
- 問題9.OJT教育の一般的な指導内容について、不適当なものはどれか。
- 1.挨拶は健康的で、明るくさわやかにさせる。
- 2.職場は毎日、整理、整頓をさせ、リサイクル運動に協力させる。
- 3.部下の能力にかかわらずきめたマニュアル通りに指導する。
- 4.作業終了時は後片付けを必ずさせる。
- 問題10.実際の指導方法について次の記述のうち最も不適当なものはどれか。
- 気づいたその時に一声かけて教える。やわらかい言葉を使い、ポイントを簡潔に話すのがコツ。
- 2.実例ではなく、理想型についてだけ語る。知識だけを教えたほうがわかりや すい。
- 3.仕事の指示・命令を与えながら教える。「このようにしろ」を明確に教え、 必ず復唱させる。
- 4.自分本位な仕事ぶりの部下に対する指導法として、仕事を任せて安心とはどういうことかを説明し、自分本位からお客様本位へ意識を変えてもらう。

問題11.建設業の許可に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1.一つの都道府県の区域内のみに営業所を設けて営業する場合は、営業所の都道府県知事の許可を得る。
- 2. 二以上の都道府県の区域内に営業所を設けて営業する場合は、国土交通大臣の許可を得る。
- 3.請負金額が2,000万円未満の「軽微な建設工事」は不要である。
- 4. 有効期限は5年間であり、5年ごとに更新が必要である

問題12.特別教育の対象となる、足場の組立て等の作業にあたる業務はどれか。

- 1.脚立、移動はしご等を単体で使用する場合
- 2.層全体の手すりを外す場合
- 3.堅固な床上で、足場の材料の運搬や整理の補助作業を行う場合
- 4. ローリングタワーを移動させる場合
- 問題 1 3 . 工程・原価・品質に関する次の記述のうち、最も<mark>不適当</mark>なものはどれか。
- 1.工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え原価は安くなるが、さらに施工速度を上げると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
- 2.原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は高くなるが、品質を下げると原価は下がる。
- 3.品質と工程の関係は、品質の良いものは一般に時間がかかり施工速度は遅くなるが、品質を下げると施工速度は上がる。
- 4.品質を良くしたものを作る場合に、施工速度を無理にでもあげると、原価は一般的に安くなる。

問題14.建設工事における施工管理の特徴として、最も不適当なものはどれか。

- 1.建設工事は、受注一品生産である。
- 2. 建設工事は、目的物を工事するので土地の制約を受けない。
- 3.建設工事は、屋外の工事が多く、降雨、出水、土質など天候・自然現象の不確定要素に左右される。
- 4.建設工事は、現地生産のため現場での社会的制約を受ける。
- 問題15.工程計画の立案に当たって考慮すべき事項として、最も<mark>不適当</mark>なものはどれか。
- 1. 各工程の施工順序の決定
- 2.省エネルギー量の算定
- 3.1日当たりの平均施工量など作業日程の算定
- 4.実施工程表の作成
- 問題 1 6 . ネットワーク工程表に関する次の記述のうち最も<mark>不適当</mark>なものはどれか。
- 1.ネットワーク工程表は横軸に日数を、縦軸には施工箇所などを表す。ネットワーク工程表の特徴として、作業手順、作業の相互関係がわかることが 挙げられる。
- 2.ネットワーク工程表を正しく運用することは時間のムダやムラの防止につ ながり、原価管理にとっても非常に重要となる。
- 3.ネットワーク工程表から、その工事のクリティカルパス(工事の最長の工程)を見つけ出して、そこに最適リソース(材料、労務、外注、機械、経費)を投入し、集中して施工しても、その工事の最大利益につながることはない。
- 4.ネットワーク工程表を用いた工程計画では、「1.ネットワークの作成」 「2.時間計算」「3.工程図の作成」の順に計画する。

問題17.資材管理に関する次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

- 1. 資材管理の目的として、規格・仕様に適合した品質の資材を適正な価格で 発注する。
- 2. 資材管理の目的として、現場の保管場所が可能ならば発注全数量をまとめて 指定された場所に搬入して管理しやすくする。
- 3. 資材管理の目的として、それぞれの資材の形状等に合わせた保管管理を行ない、工事を円滑に運営する。
- 4. 工事現場の搬入計画を作成するために周辺道路事情や大型車両の乗り入れ規制の有無を調査する。

問題18.資材の搬入計画に必要な調査事項について不適当なものはどれか。

- 1.搬入資材の品質
- 2. 搬入資材の使用時期
- 3.搬入資材の大きさ及び重量
- 4. 搬入経路の状況

問題19.各工事現場の原価管理の流れとして最も適当なものはどれか。

- 1.見積原価の管理 実行予算の作成 請負契約 予算実績管理
- 2 . 見積原価の管理 請負契約 実行予算の作成 予算実績管理
- 3. 実行予算の作成 見積原価の管理 請負契約 予算実績管理
- 4 . 実行予算の作成 請負契約 見積原価の管理 予算実績管理

- 問題 2 0 . 建設工事費の構成について次の記述のうち最も<mark>不適当</mark>なものはどれ か。
- 1.建設工事費は、工事目的物を作るのに直接要する費用である「直接工事費」の他に、それを実現するためにかかる諸々の「間接的経費」で構成されている。
- 2.現場管理費には現場事務所や仮囲いにかかる準備費用が含まれている。
- 3. 共通費や間接工事費とは、工事費を構成するもののうち工事目的物を作る ために直接必要とする費用である。
- 4. 建築一式工事では、主として工種・材料を対象として工事費を算出し、概ね工程の順序で記載する工種別内訳による内訳書標準書式が利用されている。

問20については、正答である選択肢2 に加え選択肢3 も不適当であり、問題として適切でないため全員に点数を与える

- 問題21.品質管理のQC7つ道具に関する次の記述の中で、その内容が最も 不適当なものはどれか。
- 1.特性要因図とは、品質上問題となっている特性(結果)とそれに関係する 要因(原因)の因果関係を魚の骨のような形に整理するものである。
- 2. チェックシートとは、特性要因図などで整理された要因の発生状況を把握するためのシートである。
- 3. ヒストグラムとは、チェックシ ト等で得られた要因の発生状況を棒グラフにしたものであり、平均値や標準偏差値を図に書き込み、ばらつきの状況の評価に用いる。
- 4.パレート図とは、関連があると思われる2つの要因を縦軸と横軸にとって 打点した図であり、図上の点の分布の形状から2つの要因の関連を把握で きる。

- 問題22.瑕疵担保責任に関する次の記述の中で、その内容が最も<mark>不適当</mark>なも のはどれか。
- 1.建物その他の土地の工作物の請負人は、その工作物又は地盤の瑕疵について引き渡し後5年間その担保の責任を負う。
- 2.建物その他の土地の工作物の請負人は、石造、土造、れんが造、コンクリート造、金属造その他これらに類する構造の工作物については 10 年間その担保の責任を負う。
- 3.新築住宅を供給する事業者には責任履行のために、資力確保として「保険」もしくは「供託」のいずれかの措置をとることが、義務化されている。
- 4.新築住宅の「構造耐力上主要な部分」と「雨水の侵入を防止する部分」については15年とすることが義務付けられた。
- 問題23.建設業における安全対策が難しくなる理由として最も<mark>不適当</mark>なもの はどれか。
- 1.作業内容が日々変化する。
- 2. 多業種の専門工事業者が入場している。
- 3. 単品受注生産である。
- 4.雇用期間が長期である。
- 問題24.建築工事の設計図書に相違がある場合の一般的な優先順位(高 低) として、最も**適当**なものは次のうちどれか。
- 1.現場説明書 特記仕様書 図面 標準仕様書
- 2.現場説明書標準仕様書特記仕様書図面
- 3.特記仕様書 現場説明書 図面 標準仕様書
- 4. 図面 標準仕様書 現場説明書 特記仕様書

問題 2 5 . 木造耐火建築物についての説明として、最も<mark>不適当</mark>なものはどれ か。

- 1.木造の耐火建築物でも2時間耐火構造とすることが出来る。
- 2.1時間耐火構造と1時間準耐火構造とは同じものである。
- 3.1時間耐火構造の場合、1時間までの耐火性能確保だけでなく、それ以降も、非損傷性、遮熱性、遮炎性が確保されることが求められる。
- 4.木造の耐火建築物には、主要構造部を耐火構造とした仕様規定と、耐火性能を計算や実験から検証した性能設計の2種類がある。